

横浜市立黒須田小学校
令和3年度 学力向上アクションプラン

1 中期学校経営方針

(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
「笑顔いっぱい 元気いっぱい ひらめきいっぱい かかやく子ども」 ○確かな学力により主体的に考え、よりよく解決する力を育みます。(知) ○公共心や規範意識、礼儀を大切にする豊かな心を育みます。(徳) ○健やかでたくましく、しなやかな体を育みます。(体) ○地域や社会のために他者と協働する力を育みます。(公) ○多様性を尊重し共生する力を育みます。(開)	<言語能力> <協働して課題を解決する力> <自分づくりに関する力>

(2) 中期取組目標

中期取組目標
○対話を大切にし、主体的に課題を解決する子どもを育みます。 ・一人ひとりの子どもが学習の楽しさを実感し、主体的に問題発見や課題解決に取り組むことができる授業づくりを推進します。 ・人との関わりの中で、互いを認め、思いを伝えあうことのできる豊かな人間関係力の向上を図ります。 ・地域の教育資源を活かし、「生活・総合」を中心に協働して課題を解決する力やコミュニケーション力を高めます。 ・教職員間の連携や相互啓発を促進し、学校教育目標の実現に向けて活力ある組織的な取り組みを行います。

(3) 学力向上に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
豊かな心	①生活・総合の時間を中心に地域・保護者をはじめ様々な「ひと」とのつながりを生かした学習展開を図る。②挨拶を通して豊かな人間関係力を育む。③なかよし学級との交流の充実を図る。④重点研究では特別な教科道徳に取り組み、対話を大切にした学習展開を図る。
担当	人権教育推進部

2 実態把握

低学年では、授業の学習の準備をしっかり行って取り組める児童が多い。一つ一つの学習に丁寧に取り組み、基礎学力の高い児童が多い。国語、算数の知識面では基礎、基本を身に付けている児童がほとんどである。思考面でも1年間の中でしっかり成長できている。

中学年は、どの学習に対しても意欲的に取り組んでいる児童が多いが、伝えるという面で課題も見られる。ペアや小グループでは自分の考えを積極的に伝え合うことができるが、クラス全体となると自信が無いため、発言する人が固定化される傾向がある。算数では思考面で、考えをうまく図や文と式をつなげてまとめていくことが課題である。国語では、読解力や漢字・言語については概ね理解できている。しかし、書く力と話す・聞く力において、つまずきが見られ、作文では、助詞や段落を使い、文章を構成する力がやや欠けているように見受けられる。算数では、計算技能は概ねできているが、それらを使って課題を解決する思考力がまだ育っていない。

高学年では、知識・技能的な学力において、どの教科においても一定の水準の学力を習得できている児童が多い。思考・判断・表現や主体的に取り組む態度に関しては個々の学力差が目立ち、個別に対応することが求められる児童も少なくない。基礎基本の確実な定着を図りつつ、問題解決的な学習を継続することで、それらの力を伸ばしていくことが今後も求められる。国語では漢字、言語といった基礎基本的な知識・技能は前年度と比べても習得できている児童が増えてきている。文章で自分の考えを表現する力に関しても、しっかり書くことができる児童が増えてきた。算数では、問題解決の見通しをもったり、解決方法を説明したりすることに関して課題が残る。

3 令和3年度 学年・教科等として育成を目指す具体的な資質・能力と具体的取組

	育成を目指す 具体化した資質・能力	具体的取組	
		前期	後期
1年	<ul style="list-style-type: none"> 話をしっかり聞いたり、思いや考えを表現したりする。 集団生活のルールを守り、進んであいさつしたり、感謝の気持ちを表したりする。 身体を動かす楽しさや喜びを味わいながら生活しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常的にあいさつや返事を励行する 一人一役で仕事の内容を明確にし、どの子も活躍できる場を設定する。 友達の良い所を見つけたり、称賛したりする場面を生活や学習の中で多く設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 道徳や学級活動で、友達を思いやる大切さに気づくようにする。 ありがとう、ごめんなさいなどの言葉だけでなく、友達の気持ちを考えられるよう指導する。
2年	<ul style="list-style-type: none"> 学級の一員であることを理解し、周りの人と協力して生活しようとする。 自分の周りの人とふれあい、なかよく生活しようとする。 		
3年	<ul style="list-style-type: none"> 学ぶ楽しさを味わい、課題を解決しようとする。 自他の生命や心を尊重し、自分や友達よさに気付き、お互いに助け合おうとする。 進んで運動に親しみ、よりよい生活習慣を理解し、健康的な生活をしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常的にあいさつや返事を励行する 人のためになることをした児童を意識して褒めることでよりよい行動を理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 成功体験を数多く経験させることで、自ら学ぶ意欲を高める。 校外に積極的に出て地域の人とふれあう機会をつくり、地域の大切さを感じさせる。
4年	<ul style="list-style-type: none"> 集団の一員であることを自覚し、自分たちができることを実践していこうとする。 地域の人とのふれあいを通して、気づいたことをいかし進んでコミュニケーションを図ろうとする。 		
5年	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えをいかして学習に主体的に取り組み、問題解決に向けて粘り強く取り組む。 公共心や規範意識、礼儀を大切にするとともに、自他の生命や心を尊重した言動をとろうとする。 健康な心と体についての理解を深め、自ら進んで体を鍛え、よりよい生活習慣を実践しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> きまりを守り、日常的にあいさつや返事を励行する 代表委員会を軸として行事運営を主体的に行う。 自分の思いを伝え、互いに認め合いながら活動が活発になるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 保健や食育を通して、健康な生活についての意識を高め、実践できるきっかけづくりを行う。 総合学習を主体的、計画的に行い、様々な人との関わりの中で成長できるようにする。
6年	<ul style="list-style-type: none"> 集団の一員として、自分の役割や働くことの意義を理解し、人と関わりながら他者のために行動しようとする。 様々な人々とのコミュニケーションを通じて自己を見つめ、多様性を尊重し協力する。 		
特別支援学級	<ul style="list-style-type: none"> 自分の取り組むべき課題が分かり、最後まで解決できる。 社会のルールやマナーを守ろうとする。時と場合に応じたあいさつができる。 基本的な生活習慣を身に付け、自ら生活できる。 交流や学習、遊び、行動等を通していろいろな経験を増やし、集団の一員として活動できる。 様々な集団生活を通して、自分の思いを伝え、相手の思いを聞こうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常的にあいさつや返事を励行する 交流や行事等を通して、社会の基本的なルールを身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりに合った個別の学習計画を持ち学習することで、集団の中で自己を表現する力をつけていく。